

受任者募集集中期間  
 2月22日～3月15日(遅くとも22日)  
 駅頭街頭、商店街前での宣伝、戸別訪問やロングラン宣伝で受任者募集をテンポアップします。ぜひご協力を！

# みんなで止めよう カジノ ニュース

発行元  
 カジノ誘致反対横浜連絡会  
 ☎080-9747-6721  
 Fax 045-345-9664  
<http://no-casino.yokohama/>

## 住民投票Q&A (第2回)

Q3/市内有権者の署名が何人以上集まったら市会は条例を制定するのですか？

A3・有権者の50分の1(約62,300人)以上の署名が集まれば、市会は私たちが請求する「条例案」を審議しなければなりません。その「条例案」に賛成するかどうかは議員の判断に委ねられますが、議会や市長のリコールに必要な数(約589,000人)に達するほどの署名が集まれば、各党派や議員はこの民意の次回選挙への反映を考慮して態度を決めざるを得ないでしょう

Q4/署名収集の準備から条例制定までの手続きの流れはどうなりますか？

- ① 署名サポーター(受任者に登録)
- ② 地域の担当者から署名簿が署名サポーターに届きます。
- ③ 市民(サポーター・受任者)が直接請求署名簿を持って署名を集めます(60日間)
- ④ 地域の担当者が署名簿を集めて、まとめて区選挙管理委員会に提出  
 ⇒市長に住民投票条例制定を請求  
 ⇒横浜市議会が条例を審議(可決されると)  
 ⇒住民投票を実施

市議会本会議が開かれている市役所前で宣伝行動(13日)



受任者登録の早期五万人にむけ、各区でこれまで

# つながり生かし 広がる対話

以上に行動が広がっています。

地域で、サークルで受任者に依拠して

全区の中でも先頭を走っている金沢区では受任者説明会を開催、六十五人が参加しました。説明会では、横浜カジノの問題点を学習、いかに林市長の誘致表明や説明が間違いかを理解し、今後の運動の展望

などを話し合いました。参加者からは「私は地域の受任者の連絡役として、横浜連絡会のニュースを毎日印刷して受任者に届けています。その中でお互いのカジノに対する思いがわかることもあり、スムーズな署名集めに生かされると思いますが」、「太極拳のサークル会員に話したところその場の全員が受任者に」など、積極的な活動が報告されていました。



の皆さん



スーパー前宣伝をする瀬谷区

## スーパーがイネ! 瀬谷区の活動

署名サポーターを広げようと2月から週3回宣伝を開始。2月13日15時から、カジノの是非を決める住民投票条例の成功をめざす署名サポーター(受任者)を呼びかけました。三ツ境駅近くのスーパー・イオン前で旗を掲げ、「私た

ちは、カジノ是非を決める瀬谷区民の会です。カジノは賭博です。横浜にいりません。林市長の独断で決めるわけにはいきませぬ。市民の意思でカジノの是非を決めましょう。署名サポーターに登録をしてください」と訴えました。多くの買い物客が足を止め、「私は、カジノは反対よ」「なんで林市長はカジノをやりたがっているのかしらね」と、署名サポーターに1時間で27人が登録しました。駅頭では10人前後の登録ですが、スーパー前は、立ち止まる人が多く、関心の高さが伝わってきます。2月23日には、「署名サポーター(受任者)交流のつどい」を開きます。

3/14

## 統一宣伝行動 ぜひご活用を!



連絡会では、受任者募集集中期間最終盤の3月14日(土)に市内一斉統一宣伝行動を展開します。各区でロングラン宣伝や訪問行動が取り組まれます。連絡会ではこのニュースやwebサイト、SNSで各区の行動予定を発信していきます。ぜひご協力をお願いします。